

4 フェールオーバーおよびリカバリ

この章は、次の内容で構成されています。

- 「フェールオーバー」 (P.lxix)
- 「リカバリ」 (P.lxix)

フェールオーバー

ネットワークがフェールオーバーするように設定されている場合は、NCM コアに障害が発生した場合、ユーザは別の NCM コアを使用してシステムのすべてのデータに引き続きアクセスできます。[\[Site Reassignment\]](#) ページを使用して、障害が発生した NCM コアによって管理されていたすべてのサイトが新しい NCM コアを指すようにできます。詳細については、「[\[Site Reassignment\]](#) ページ」 (P.lxvi) を参照してください。システム リカバリの手順は、リモート サーバの障害によって異なります。

リカバリ

3 種類の基本的なリカバリ シナリオがあります。

- ネットワーク接続の喪失
- NCM サーバの喪失
- データベース サーバの喪失

ネットワーク接続の喪失

ネットワーク接続が失われたときに、ネットワークの問題が原因でフェールオーバーが発生しました。NCM サーバまたは Oracle データベース サーバでは問題は発生していません。リカバリは次の手順で構成されます。

- 1 ネットワークの問題を解決します。
- 2 再割り当てされたサイトを元の NCM コアにリセットします。これは NCM で実現できます。[「\[Site Reassignment\]](#) ページ」 (P.lxvi) を参照してください。
- 3 停止中にドライバがシステムに追加された場合は、[\[Start/Stop Services\]](#) ページの [\[Reload Drivers\]](#) ボタンをクリックします。このアクションは、ドライバ ファイルをリロードし、NCM メッシュ内の他の NCM コアにプッシュします。このアクションは、ドライバが追加された NCM サーバで実行します。詳細については、『[User Guide for CiscoWorks Network Compliance Manager 1.8](#)』を参照してください。

- 4 停止中にシステム設定が変更された場合は、[Renew Config Options] ページを使用して、オプションを NCM メッシュで同期させます。「[Renew Configuration Options] ページ」(P.lxviii) を参照してください。
- 5 NCM コアの接続が長時間にわたって解除された場合、データの同期の後で接続が切断された NCM コア サーバを再起動して、特定のサイトのデータをリロードし、古いデータによって例外エラーが発生しないようにします。

ネットワークの問題が解決されると、複製がデータベース間のデータを同期するため、システムが回復します。

NCM サーバの喪失

NCM サーバに、サーバの再インストールが必要な障害が発生した場合、リカバリは次の手順で構成されます。

- 1 NCM のインストール中に、[Use existing database] オプションを選択します。また、選択するデータベースは、障害が発生したサーバが使用していたものとします。
- 2 *distributed.rcx* ファイルを *ReplicationScriptToolBundle* から *appserver.rcx* ファイルがあるディレクトリに追加します。
- 3 パッチおよびサポートの問題に関する NCM コア固有の特殊なケース オプションを再度追加します。
- 4 NCM を再起動します。
- 5 再割り当てされたサイトを元の NCM コアにリセットします。これは NCM で実現できます。「[Site Reassignment] ページ」(P.lxvi) を参照してください。
- 6 停止中にドライバがシステムに追加された場合は、[Start/Stop Services] ページの [Reload Drivers] ボタンをクリックします。このアクションは、ドライバ ファイルをリロードし、NCM メッシュ内の他の NCM コアにプッシュします。このアクションは、ドライバが追加された NCM サーバで実行します。詳細については、『*User Guide for CiscoWorks Network Compliance Manager 1.8*』を参照してください。
- 7 停止中にシステム設定が変更された場合は、[Renew Config Options] ページを使用して、オプションを NCM メッシュで同期させます。「[Renew Configuration Options] ページ」(P.lxviii) を参照してください。
- 8 元の NCM コアを編集して、異なるパラメータを変更します（おそらくインストールは異なるホスト名を持つ新しいサーバで行われています）。
- 9 正常な NCM コアから回復した NCM コアにソフトウェア イメージ リポジトリをコピーします。

データベース サーバの喪失

データベース サーバが失われた場合、NCM サーバは引き続き動作しますが、データベースにアクセスできません。データベースを再構築し、データベースで複製を再度設定する必要があります。リカバリは次の手順で構成されます。

- 1 失われたサーバに関連付けられているため、待機中または保留中のままでスタックし、実行していないタスクを一時停止、または削除します。このアクションは、NCM メッシュにある別の NCM サーバで実行できます。

- 2 失われたサーバが複製のマスター定義サーバの場合は、マスター定義サーバを再配置する手順を実行する必要があります。「[マスター定義サイトの変更](#)」(P.xli) を参照してください。
- 3 新しい NCM コアを追加する手順については、「[Oracle 11g : 既存の NCM メッシュへの新しい NCM コアの追加](#)」(P.xxxiii) または「[Oracle 10g : 既存の NCM メッシュへの新しい NCM コアの追加](#)」(P.xxxvi) を参照してください。
- 4 再割り当てされたサイトを元の NCM コアにリセットします。これは NCM で実現できます。「[\[Site Reassignment\] ページ](#)」(P.lxvi) を参照してください。
- 5 NCM で、回復された NCM コアを編集して、すべての情報が新しい設定で有効なことを確認します。詳細については、『[User Guide for CiscoWorks Network Compliance Manager 1.8](#)』を参照してください。

